

報告事項ウ

平成22年度子どもの読書活動優秀実践校文部科学大臣表彰について

平成22年度子どもの読書活動優秀実践校文部科学大臣表彰について、別紙のとおり報告します。

平成22年4月22日

鳥取県教育委員会教育長 横 濱 純 一

平成22年度子どもの読書活動優秀実践校文部科学大臣表彰について

小中学校課

1 表彰の趣旨

子どもが、言葉を学び、感性を磨き、表現力を高め、創造力を豊かなものにし、人生をより深く生きる力を身に付けていく上で欠くことができない読書活動の一層の推進に資するため、国民の間に広く子どもの読書活動についての関心と理解を深めるとともに、子どもが積極的に読書活動を行う意欲を高める活動において特色ある優れた実践を行っている学校・図書館・団体及び個人に対し、その実践をたたえ文部科学大臣が表彰する。

2 被表彰校

大山町立中山小学校、鳥取市立気高中学校

3 表彰概要等

被表彰団体	表彰概要（特色ある取組）
大山町立 中山小学校	<p>町ぐるみで読書活動に取り組む恵まれた環境を生かし、「図書館と児童をつなぐ」「本と人をつなぐ」「職員と図書館をつなぐ」の3本柱による特色ある取組を継続的に行い読書活動を推進している。</p> <p>空き教室の利用による「絵本の国」（絵本を中心とした図書館）作りにより、居心地がよく活用しやすい環境を整備したり、1年生から全児童が図書館ファイルを持ち6年間活用し学習や読書記録等の振り返りに生かしている。</p> <p>国際交流員による翻訳絵本の読み聞かせ実施による異文化理解の推進やPTA厚生部との連携による「夜寝る前10分間の読み語り」など本と人を結ぶ取組をしている。</p> <p>職員用図書便り「ぶっくとらっく」での司書教諭の授業時間調整や授業で活用できる図書の紹介をしている。</p> <p>学校図書館が児童にとって身近で居心地のよい場所となり、貸し出し冊数や読書量が増え、本を通じて学校・保護者・地域が連携を図って取り組んだことにより、読書週間が定着している。</p>
鳥取市立 気高中学校	<p>全校朝読書や全校一斉読書の継続的な取組を実施している。</p> <p>地域ボランティアの協力を得て学校図書館資料の整備を進めデータベース化に取り組んでいる。</p> <p>学校研究とつながる学校図書館を活用した授業実践に取り組んでいる。</p> <p>教職員や生徒、保護者ボランティアによるもの作りの会を実施したりしている。</p> <p>学校図書館を中心にした授業実践の成果を県全体に広げている。</p>

4 表彰日・会場

平成22年4月23日（金）「子どもの読書活動推進フォーラム」
国立オリンピック記念青少年総合センター（東京都）